



不審者対応 防犯教室実施

本日3校時目に学校への不審者侵入を想定した避難訓練を実施しました。不審者対応訓練は、児童及び教職員の安全確保を第一に考え、侵入者への対応の仕方や、日常生活における危機管理上の配慮点などについて実際に学ぶ機会とするとともに、児童一人一人が自他の生命を尊重し、進んで安全な生活を送ろうとする態度を養うことを目的に、毎年、侵入経路や状況を変えて実施しています。



本日は、正面玄関から不審者が侵入し、北校舎3階まで上がり、顔見知りの児童を連れて行こうとするという設定で行いました。不審者役の職員が侵入してきた場面で、5年担任が助けを求め、校内連絡体制、各担任が児童の安全を確保、警察へ通報、不審者防御の一連の動きを体験しました。実施後、福島警察署福島県警察スクールサポーターの上野康雄様から御指導をいただきました。

学校が再開し、登下校中の子どもを狙った犯罪の発生が懸念されます。最近、福島市においても不審者事案が多発しています。上野さんからは、**登下校はできるだけ複数で行動する、不審者に気づいたら20メートル以上逃げ、近くの人に知らせる、帰宅後一人**

で屋外にいないようにするなど、自分の命は自分で守ることができるように日頃からイメージしておくことが大切とのお話をいただきました。

いつどこで不測の事態に遭遇するかわかりません。今後も、訓練を通して命を守る意識や態度を育てていきたいと思っております。御家庭でも、不測の事態への対応について話し合いをよろしくお願いいたします。



<放送室でお話する上野さん>

○ SNSによる被害も急増 警察から注意喚起！

休業期間中、インターネットやゲーム等に費やす時間が多かった児童もいたことと思います。SNSは誰でも気軽に投稿・閲覧をすることができますが、写真や動画から自宅や学校などが特定される危険性もあります。

また、SNSに悪口等を書き込むことにより、トラブルを招いたり、犯罪の加害者になったりする可能性もあります。便利で楽しいSNSにも危険があるということを子どもたちに認識させることが大切です。メディアとの付き合い方について、御家庭でのルール作りをよろしくお願いいたします。

<スマホの約束6か条>

- あ：会わないで(知らない人と)
- と：撮らないで(自分の姿を)
- が：画像を送らないで
- こ：個人情報を書き込まないで
- わ：悪口を書き込まないで
- い：いじめないで(ネットで)

※県警察本部少年課発行安全便りより抜粋